

 TOYO SUISAN

東洋水産株式会社

証券コード：2875

東洋水産から株主の皆様へ

# 第62期中間決算のご報告

2009年4月1日～2009年9月30日（第2四半期）



**Smiles for All.**

すべては、笑顔のために。



代表取締役社長 **堤 股**

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援とご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

さて、当社第62期の第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

## 当第2四半期の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した世界的金融危機による景気後退が長期化する中、生産や輸出は持ち直しの動きもみられるものの、企業収益は大幅な減少が続いており、失業率が過去最高水準となる等雇用情勢も一段と厳しさを増しており、景気は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考

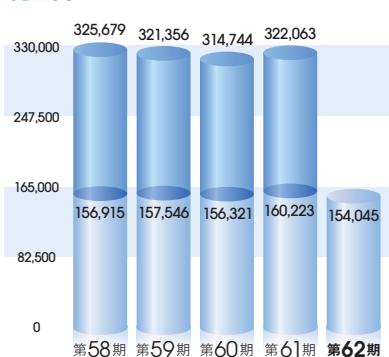
え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同四半期に比べ3.9%減収の154,045百万円、営業利益は前年同四半期に比べ22.2%増益の15,891百万円、経常利益は前年同四半期に比べ17.8%増益の16,427百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ22.3%増益の9,660百万円となりました。

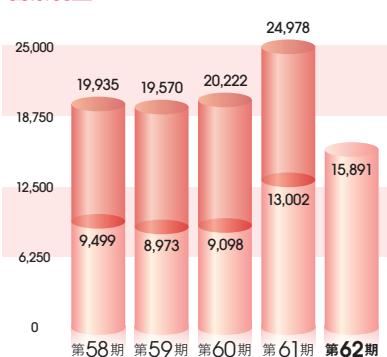
2009年12月

## 連結決算ハイライト

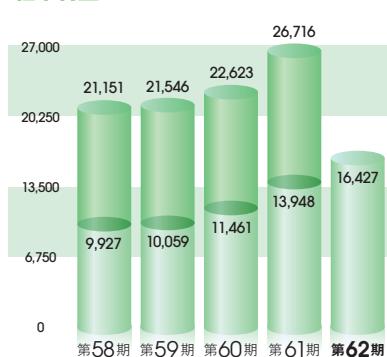
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



経常利益(百万円)





## 加工食品部門



加工食品部門は、国内即席麺事業では、企業スローガンの下で主力品の拡売に努めました。カップ麺では、「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」は麺とスープの改良を重点にリニューアルを行いました。また、「麺づくり」では麺にこだわり

リニューアルを行い積極的な拡売に努めましたが、オープンブライス商品の落ち込みが影響し、国内カップ麺は微減となりました。袋麺においては、主力の「カレーうどん5食パック」「冷しラーメン5食パック」等が貢献し、袋麺全体では増収となりました。生麺事業は、天候不順と経済不況に起因する価格競争の激化により業界全体も前年並みの推移となり、当社売上も主力焼そばは順調に推移したものの全体ではほぼ業界と同水準に留まりました。冷凍食品は、冷凍麺、凍菜は引き続き順調に推移したものの、調理品類の主力ユーザー向け売上減少をカバーできず減収となりました。米飯部門及び魚肉ハムソーセージ部門の売上は、適正売価の販促に努めましたが前年を下回りました。調味料類は、引き続き家庭内調理の増加もあり、売上を維持しました。これらの結果、加工食品部門全体の売上高は前年同四半期に比べ3.1%減収の127,285百万円、営業利益は前年同四半期に比べ25.9%増益の14,666百万円となりました。

## 魚介類部門



魚介類部門は、前期後半からの世界経済危機による市況低迷で消費者の生活防衛意識が高まったことから低価格志向が鮮明になり、高級水産品であるカニ・ロブスターの販売不振、更には大衆魚といわれるサバ・シシャモ等の販売価格も下落しております。そのような状況の下、当社の得意商材である魚卵の新規取組み、エビ・マグロ等の新商品の開発を行ってまいりましたが、売上高は前年同四半期に比べ15.9%減収の17,404百万円、営業利益は前年同四半期に比べ43.4%減益の346百万円となりました。

## 冷蔵庫部門

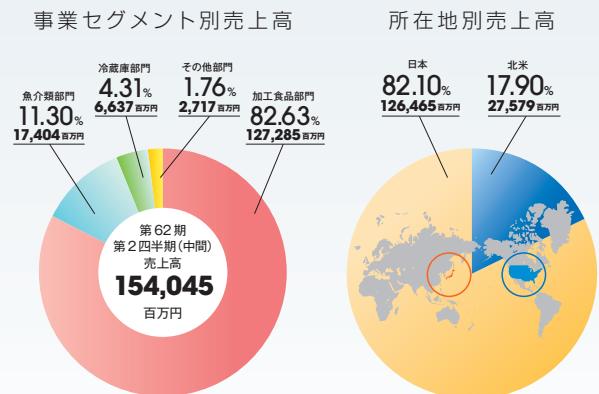


冷蔵庫部門は、前期において、米国のシーフリーズL.P.の冷蔵庫部門を事業譲渡いたしました。消費低迷による顧客の在庫圧縮傾向の中、積極的な営業活動に努めた結果、在庫量、在庫量を維持することができました。この結果、冷蔵庫部門全体では売上高は前年同四半期に比べ6.0%減収の6,637百万円となりましたが、営業利益は前年同四半期に比べ60.9%増益の610百万円となりました。

## その他部門

その他部門は、主に輸入牛肉の販売並びに不動産賃貸であります。輸入牛肉が好調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ133.2%増収の2,717百万円、営業利益は前年同四半期に比べ16.1%減益の302百万円となりました。

## 売上高構成比・所在地別売上高





## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (2009.9.30 現在)	前連結会計年度末 (2009.3.31 現在)	
資産の部	<b>流動資産</b>	<b>106,994</b>	<b>113,424</b>
	現金及び預金	33,711	33,000
	受取手形及び売掛金	39,842	39,191
	繰延税金資産	1,614	1,856
	その他	32,384	39,931
	貸倒引当金	△559	△556
	<b>固定資産</b>	<b>115,955</b>	<b>105,257</b>
	有形固定資産	97,512	87,574
	無形固定資産	1,600	1,934
	投資その他の資産	16,843	15,748
<b>資産合計</b>	<b>222,950</b>	<b>218,681</b>	
負債の部	<b>流動負債</b>	<b>41,621</b>	<b>44,529</b>
	<b>固定負債</b>	<b>15,864</b>	<b>15,463</b>
	<b>負債合計</b>	<b>57,485</b>	<b>59,993</b>
純資産の部	<b>株主資本</b>	<b>162,834</b>	<b>154,727</b>
	資本金	18,969	18,969
	資本剰余金	21,412	21,412
	利益剰余金	129,633	121,503
	自己株式	△7,181	△7,157
	<b>評価・換算差額等</b>	<b>△9,385</b>	<b>△7,697</b>
	その他有価証券評価差額金	467	△260
	繰延ヘッジ損益	302	0
	為替換算調整勘定	△10,155	△7,437
	<b>少数株主持分</b>	<b>12,016</b>	<b>11,658</b>
	<b>純資産合計</b>	<b>165,464</b>	<b>158,688</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>222,950</b>	<b>218,681</b>	

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2009.4.1～2009.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2008.4.1～2008.9.30
<b>売上高</b>	<b>154,045</b>	<b>160,223</b>
売上原価	96,580	105,039
<b>売上総利益</b>	<b>57,465</b>	<b>55,184</b>
販売費及び一般管理費	41,573	42,182
<b>営業利益</b>	<b>15,891</b>	<b>13,002</b>
営業外収益	884	1,192
営業外費用	348	246
<b>経常利益</b>	<b>16,427</b>	<b>13,948</b>
特別利益	21	36
特別損失	416	715
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>16,032</b>	<b>13,268</b>
法人税、住民税及び事業税	5,952	5,316
法人税等調整額	△37	△281
少数株主利益	457	331
<b>四半期純利益</b>	<b>9,660</b>	<b>7,901</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2009.4.1～2009.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2008.4.1～2008.9.30
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>12,164</b>	<b>11,191</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△13,884</b>	<b>△12,933</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,699</b>	<b>△1,261</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,915	635
現金及び現金同等物の増減額	△5,335	△2,367
現金及び現金同等物の期首残高	49,537	37,570
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>44,202</b>	<b>35,202</b>



## ヘルシー&リーズナブルな魅力に注目が集まっています！ 「ノンフライ袋麺」シリーズ

「ノンフライ袋麺」シリーズは、近年高まっている消費者の健康志向・内食化のニーズにフィットした商品として支持を集めております。

### 主カラインナップ



昔ながらの中華そば



屋台十八番



冷しラーメン

イメージキャラクターの  
真矢みきさん



本シリーズのブランドサイトも  
ぜひご覧ください。

<http://www.nonfry.com/>

## レシピ提案で「ノンフライ袋麺」シリーズの注目度アップ

ホームページでは、フードコーディネーター WATOさんによるオリジナルレシピを紹介し、食卓で「ノンフライ袋麺」シリーズをより多く活用いただくためのご提案に力を入れております。



### 健康志向で注目

カロリーが抑えられるノンフライ麺ならではの特長を活かし、「ノンフライ袋麺」シリーズと具材を合わせても、総カロリーが500kcal以下でできるレシピをご提案しております。



### 内食化で注目

具材の選択や調理方法など、袋麺ならではのアレンジのしやすさを活かした多彩な楽しみ方を紹介。食卓に上がる機会が増えても飽きの来ない食べ方をご提案しております。

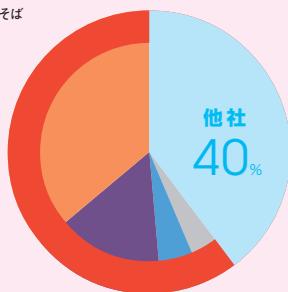
## ●●●● 「ノンフライ袋麺」シリーズのシェアは業界トップの60% ●●●●

東洋水産の「ノンフライ袋麺」シリーズは、多彩なラインナップを展開し、JASに登録しているノンフライ袋麺ではトップシェアを占めております。また当社の袋麺の販売金額は、2008年に過去10年で最高金額に達しており、この要因のひとつに「ノンフライ袋麺」シリーズの好調も寄与しています。

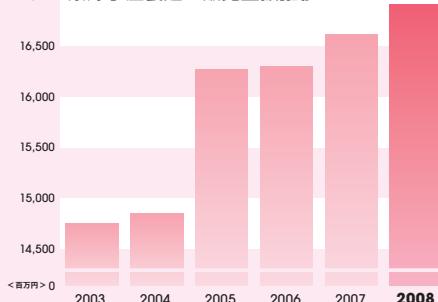
### 東洋水産のシェア

- 昔ながらの中華そば
- 屋台十八番
- 冷しラーメン
- その他

東洋水産  
**60%**



### 東洋水産袋麺の販売金額推移





## 会社概要

### 創立

1953年3月25日

### 本社

〒108-8501

東京都港区港南二丁目13番40号

電話 (03)3458-5111(代表)

### 資本金

189億6,952万円

### 従業員数

1,827人

### 事業所数

工場7、冷蔵庫13、

支店・営業所28

### 関係会社

33社(海外8社含む)

## 支店・営業所

- ◆札幌支店 (札幌支店、旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- ◆東北支店 (仙台営業所、八戸営業所、盛岡営業所、秋田営業所、福島営業所、山形営業所)
- ◆信越支店 (新潟営業所、長野営業所)
- ◆北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- ◆東京支店 (東京営業所、千葉営業所、埼玉営業所、神奈川営業所、甲府営業所)
- ◆静岡支店
- ◆名古屋支店 (名古屋支店、金沢営業所)
- ◆大阪支店
- ◆中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- ◆福岡支店 (福岡支店、沖縄営業所)

## 冷蔵庫

- ◆札幌冷蔵庫
- ◆石狩冷蔵庫
- ◆大井埠頭冷蔵庫
- ◆平和島冷蔵庫
- ◆城南島冷蔵庫
- ◆東扇島第一冷蔵庫
- ◆東扇島第二冷蔵庫
- ◆東扇島第三冷蔵庫
- ◆名古屋冷蔵庫
- ◆神戸冷蔵庫
- ◆舞洲冷蔵庫
- ◆福岡冷蔵庫
- ◆佐賀冷蔵庫

## 工場

- ◆札幌工場
- ◆埼玉工場
- ◆相模工場
- ◆焼津工場
- ◆田子工場
- ◆神戸工場
- ◆福岡工場

## 役員 (2009年9月30日現在)

代表取締役会長	深川	清司
代表取締役社長	堤	殷
専務取締役	織田	睦彦
常務取締役	成滝	勝郎
常務取締役	小畑	一雄
取締役	目羅	甚一
取締役	谷口	文夫
取締役	佐藤	勝英
取締役	山内	寛
取締役	山下	透
取締役	三浪	博行
取締役	菅原	謙二
取締役	手嶋	専市
常勤監査役	北村	勝久
常勤監査役	南	守之
社外監査役	高良	明
社外監査役	森	勇

## 主要グループ企業

### 国内連結子会社

- ◆八戸東洋株式会社
- ◆甲府東洋株式会社
- ◆フクシマフーズ株式会社
- ◆東洋冷凍株式会社
- ◆サンリク東洋株式会社
- ◆株式会社酒悦
- ◆新東物産株式会社
- ◆東部貿易株式会社
- ◆伊万里東洋株式会社
- ◆株式会社フレッシュダイナー
- ◆株式会社東京商社
- ◆銚子東洋株式会社
- ◆ユタカフーズ株式会社
- ◆石狩東洋株式会社
- ◆ミツワデイリー株式会社

### 海外連結子会社

- ◆MARUCHAN, INC.
- ◆MARUCHAN VIRGINIA, INC.
- ◆MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V.
- ◆SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- ◆PAC-MARU, INC.

### 非連結子会社 他

- ◆ヤイズ新東株式会社
- ◆三幸養魚株式会社
- ◆埼玉東洋株式会社
- ◆湘南東洋株式会社
- ◆東和エステート株式会社
- ◆スルガ東洋株式会社
- ◆下田東水株式会社
- ◆海南東洋水産有限公司(中国)
- ◆湛江東洋水産有限公司(中国)
- ◆株式会社いらご研究所
- ◆青島味豊調味食品有限公司(中国)
- ◆仙波糖化工業株式会社\*
- ◆ヒガシマルインターナショナル株式会社

\*持分法適用関連会社



## 株式の状況

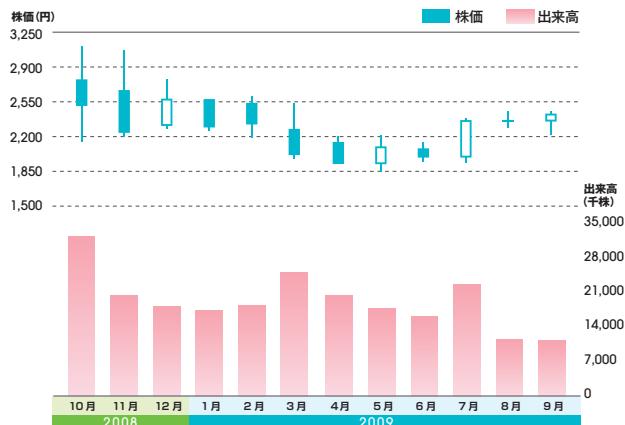
発行可能株式総数…………… 427,000,000 株  
 発行済株式の総数…………… 110,881,044 株  
 株主数…………… 5,769 名

## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,255	7.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,483	4.40
株式会社三井住友銀行	2,900	2.84
ビー・イー・チ フォー・バリアブル インシュランス プロダクツ エフティスリー エムアイディー キャップポート	2,603	2.55
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,221	2.18
あいおい損害保険株式会社	2,000	1.96
マルちゃん持株会	1,998	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,890	1.85
中央三井信託銀行株式会社	1,690	1.66
東友会	1,590	1.56

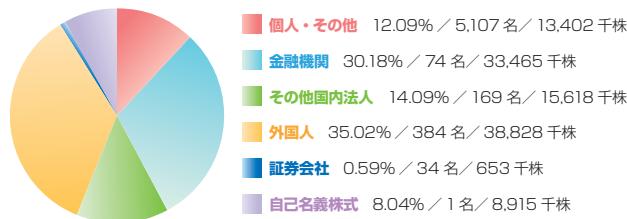
(注) 出資比率は自己株式 (8,915,453 株) を控除して計算しております。  
 (注) 出資比率は小数点以下第 2 位未満を四捨五入して計算しております。

## 株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



## 株式分布状況

### 所有者別



### 所有株数別



## 株主優待制度



3,000円相当の製品例

当社は株主の皆様へ、ご所有の株式数に応じて自社製品の詰め合わせを進呈する、株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し3,000円相当の自社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し5,000円相当の自社製品を、それぞれ6月に進呈させていただきました。

### 配当金領収証で配当金をお受取の株主様へ

租税特別措置法の平成20年改正 (平成20年4月30日法律第23号) により、平成21年1月以降にお支払いする上場株式の配当等について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

平成21年中に支払った配当金に係る「支払通知書」は、本年末または来年初に株主様に送付させていただきます。

なお、「支払通知書」は、確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

## ●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス <a href="http://www.maruchan.co.jp/">http://www.maruchan.co.jp/</a>
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに 日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

## ●株式に関する各種手続きについて

### ・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### ・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、上記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

### ・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取いただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけるようになりました。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。



## 環境報告書 2009

東洋水産の環境への取り組みをご覧くださいませ。

東洋水産の環境保全や品質保証と安全・安心への取り組み、社会貢献活動をまとめた環境報告書をホームページからご覧いただけます。

 <http://www.maruchan.co.jp/csr/>

## 社会活動への取り組み 稚魚放流活動



これまでの放流実績は、カサゴ、ヒラメ、オコゼ、黒鯛など合計約200,000尾に及びます。

東洋水産は、水産資源の保護育成および地域社会への貢献活動の一環として、1996年より田子工場(静岡県賀茂郡西伊豆町田子)においてカサゴやヒラメの稚魚の放流活動を行っています。11回目の実施となった2009年7月8日も、地域住民の方々のご協力のもと、田子港内や沖合いでカサゴの稚魚18,000尾を放流しました。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。  
<http://www.maruchan.co.jp/csr/resource/>